

## 2011年度 幌尻岳の山岳環境保全活動報告、課題と改善策の提案

高橋 健（日高山脈ファンクラブ事務局長）

### 1. 第1回幌尻岳清掃登山&幌尻山荘排泄物人力運搬事業結果報告

主催 日高山脈ファンクラブ

後援 北海道日高振興局 日高北部森林管理署 平取町 平取町山岳会

日時 2011年7月16日（土）から18日（月・祝）

会場 幌尻岳ヌカビラ登山口・取水ダム・幌尻山荘

参加者 8名（男性7名、女性1名）

内容

#### (1) 幌尻岳ヌカビラ登山口仮設トイレチップ協力金回収

登山口トイレの協力金（2010年9月20日から2011年7月16日まで）は、2,221円でした。

#### (2) 幌尻岳ヌカビラ登山口ゴミ回収及びトイレ清掃

登山口のゴミはほとんどなかった。



#### (3) 幌尻山荘水力発電機及びトイレの状況と排泄物汲み取り・密閉作業

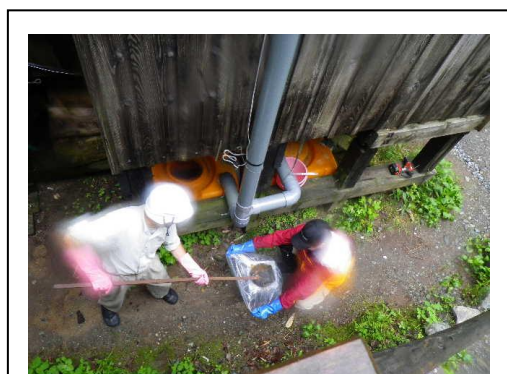
山荘屋外流し付近の水力発電機及びバイオトイレはこの時点ではなんとか稼動していた。2日目以降の天候悪化が予測できたので、初日に汲み取りと密閉作業を決行。バイオトイレも稼動していたので、排泄物は少なく、小分けにして収納し便槽を空にした。

#### (4) 清掃登山

悪天候により未実施

#### (5) 排泄物運搬

増水により、空身で下山する。密閉缶は山荘管理人の稲垣さんに下ろしていただいた。（推定 12kg）。



※ 8月実施予定の幌尻山荘排泄物人力運搬事業は、天候不順により登山者が少なく、貯留量が少ないとの報告があり、実施しなかった。

※ 幌尻岳ヌカビラ登山口トイレ便槽が一杯との報告を受け、平取町役場から汲み取り業者に依頼していただき、汲み取りを実施した。

排泄物汲取料3,050円、排泄物運搬料30,000円

## 2. 2011年第2回幌尻岳清掃登山&幌尻山荘排泄物人力運搬事業結果報告

主催 日高山脈ファンクラブ

後援 北海道日高振興局 日高北部森林管理署 平取町 平取町山岳会

日時 2011年9月19日(月・祝)

会場 幌尻岳ヌカビラ登山口・取水ダム・幌尻山荘

参加者 参加者23名(平取町山岳会・開発職員含む)＋幌尻山荘管理人

### 内容

(1) 幌尻岳ヌカビラ登山口仮設トイレチップ協力金回収

登山口トイレの協力金(2011年7月21日から9月19日まで)は2,281円でした。

(2) 幌尻岳ヌカビラ登山口ゴミ回収及びトイレ清掃

登山口のゴミは少なかった。

(3) 幌尻山荘水力発電機及びトイレの状況と排泄物汲み取り・密閉作業

山荘到着後、女性陣にも協力いただき汲み取り、缶密閉作業を行う。バイオトイレの稼働日は少なかったのだが、天候不良により登山者も少なかったため、それほど排泄物の量は増えていなかった。今回の活動で便槽排泄物をほぼ汲み取った。



(4) 排泄物運搬

今回は、振内在住の地域づくり協力隊3名の協力があった。登山初心者ではあったが、富安君26kg、上妻君24.5kg、隈崎君23.5kgの運搬があり、若い力に今後も期待したい。総運搬量は362.5kgであった。3缶運搬できないものがあった。



運搬量は皆さんの力量の個人差があるので、それはさして重要なことではなく、それよりも汲み取り、人力運搬という、人がもっとも嫌がる作業に参加するという意識、そして実際に参加されたという行為に対し、深く感謝申し上げます。誠にありがとうございました。

### 3. 課題と改善策の提案

水力発電機が故障してバイオトイレが動かないという状況が続いている。水量は確保されているようなので、使用に耐えうる機器に更新すれば問題はないようだ。故障箇所も毎回同じ部品のようなので、メーカーに発注して終わりということではなく、どうすれば継続して3ヵ月の使用に耐えうるのかを検討し、実行に移して欲しい。

来年以降、バイオトイレが順調に稼動しても山荘トイレ・仮設トイレの利用はなくならない。それは設置基数が少ないからです。

管理者である平取町役場には、利用料金値上げによる受益者負担＝ヘリ運搬、または地元土建業者等による人力運搬の検討を早急にして欲しい。1000円値上げ×利用者3千人＝3百万円で運搬代は捻出できる。受益者＝ほとんど道外在住者は、排泄物がボランティアによる人力運搬されていることは知らずに幌尻山荘を利用している。さらに山荘利用者の大多数を占める道外在住者は、(過去の当会のアンケート調査により)1500円という山荘利用料が安すぎると感じているわけだから、利用者が減るから利用料の値上げはできないという意見が、もしあるとすると、それは的外れである。

山岳環境を守っていくための対価を受益者に負担してもらう方法を検討することはいいことだと思う。いつまでもボランティアが運搬するのはできないと感じている。

ファンクラブとしては、もともと実施していた清掃登山を拡大し、早池峰山の人力運搬の方法を事務局長である私と幌尻山荘管理人の稲垣さん(当時はファンクラブ理事、現在は副会長)が現地で体験し、アレンジして幌尻山荘で2005年から実施して今年で7年。

今回を含め、延べ264名にもなる多くのボランティアのご協力により約3161kgもの排泄物を運搬してきた。

ファンクラブでは今後も、排泄物がある限り、その他の方法が取られないのであれば、排泄物を野山に捨てないために人力運搬を継続したいと思っている。ただし毎年のことだが、実施は予定である。バス代や参加者の保険料、ビニル袋などの消耗品といった経費は、助成金で賄われている。そのため助成金がなければ、この事業は実施できない。今年は(財)自然公園財団の公益信託自然保護ボランティアファンド活動金で実施できた。

毎年、7月の連休は天候不順となること、また宿泊に伴い運搬量が増加できないことから、来年度は、8月に日帰りで排泄物運搬を実施し、9月連休に3ヵ年連続で実施できていない七つ沼カール清掃を兼ねて排泄物運搬を実施したい。

また、登山口トイレについては、設置場所を国有林から借りて設置している。任意団体が財産を所有して管理するというのは難しいと感じていますので、行政機関での引き受け手がいれば、譲渡したいと思います。